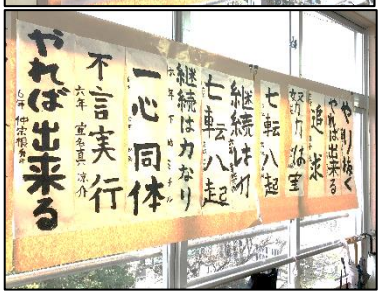
じょうがくつうしん
城岳通信

第35号
令和３年１月12日（火）
発行者：校長　宮里 寿子

「書き初め会」開催!



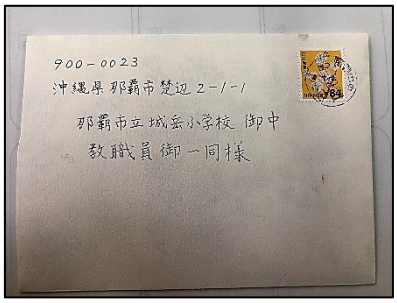
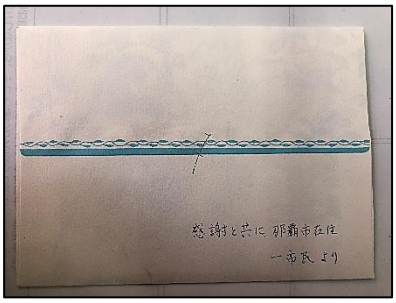
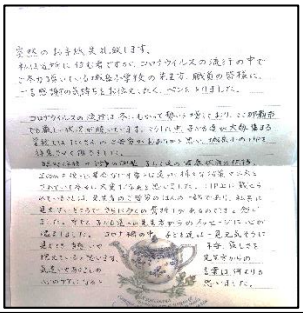
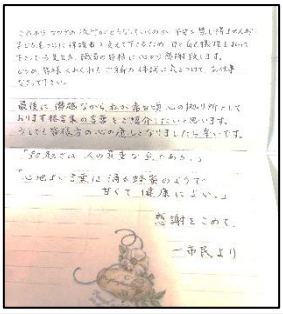
二学期後半開始の１月６日（水）は、全校一斉の「書き初め会」。１・２学年は「硬筆」で、「姿勢を正して、筆順に従って、文字を正しく書くこと」が目標。３年生以上は筆を使った「毛筆」。中学年は「漢字や仮名の大きさ、点画（横画、縦画、左払い、右払い、折れ、曲がり、そり、点等）の書き方を理解し、始筆から終筆まで丁寧に書くこと」、高学年は「穂先の動きを注意すること」等が目標です。

３年生は「友だち」、４年生は「美しい空」、５年生は「世界の国」の文字に挑戦！真剣にお手本と向き合い、一字一字、丁寧に書いている姿が印象的でした。６年生は国語の授業にあわせ、自分の「座右の銘」を書いていました。素敵な言葉が並んでいました。

嬉しいお手紙が届きました。ご紹介します。

～感謝と共に　那覇市在住一市民より～

昨年末、城岳小学校の教職員宛てに、「感謝と共に　那覇市在住　一市民より」と書かれた匿名のお手紙を頂きました（下の写真参照）。中を開けて読んでみると、嬉しさのあまりに涙してしまいました。ぜひ、保護者にもご紹介したいと思い今回掲載致します。今後とも「チーム城岳小」、城岳小学校職員一同、城岳っ子を「笑顔いっぱい 輝く子」に育むよう頑張ります。

突然のお手紙失礼致します。私は近所に住む者ですが、コロナウィルスの流行の中でご尽力頂いている城岳小学校の先生方、職員の皆様に、一言感謝の気持ちをお伝えしたく、ペンをとりました。

コロナウィルスの流行は、冬に向かって勢いを増しており、那覇市でも厳しい状況が続いています。こうした中、子ども達が大勢集まる学校ではたくさんのご苦労がおありかと思い、城岳小の HP を拝見させて頂きました。臨時休校や行事の調整、子ども達の健康状態の把握、ZOOM を使った集会など、平素とは違った様々な対策や工夫をされていて本当に大変だなと思いました。HP 上に載せられていることは、先生方のご苦労のほんの一部であり、私どもが見えないところで、更に多くの骨折りがあるのではと、感じました。中でも、子ども達への先生方からのメッセージに心が温まりました。コロナ禍の中、子ども達は一見元気そうに見えても戸惑いや不安、寂しさを抱えていると思います。先生方からの気遣いや励ましの言葉は何よりも心のケアになると思いました。これからコロナの流行がどうなっていくか、不安を禁じ得ませんが、子ども達、さらに保護者を支えて下さるため、日々自己犠牲を払って下さっている先生方、職員の皆様に心から感謝致します。どうか、皆様くれぐれもご自身の体調に気をつけて、お仕事なさって下さい。最後に僭越ながら、私が日頃心の拠り所としております格言集の言葉を紹介したいと思います。少しでも皆様の心の癒やしになりましたら幸いです。『勤勉さは人の貴重な宝である』『心地よい言葉は滴る蜂蜜のようで、甘くて健康に良い』。　　感謝を込めて　一市民より